

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、新規の検査拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

- [25470] HBV薬剤耐性遺伝子解析

### 受託開始日

- 平成23年3月1日(火)

## HBV薬剤耐性遺伝子解析

B型慢性肝炎の薬剤治療には、インターフェロン(IFN)に加え、核酸アナログ製剤としてラミブジン(LAM)やアデホビル(ADV)が用いられており、最近ではエンテカビル(ETV)が薬剤耐性ウイルスの出現率が低いという理由で使用される機会が増えています。また、新たな核酸アナログ製剤としてテノホビル、テルビブジンなどの臨床試験も進められております。

LAM治療では、YMDDモチーフに高率に薬剤耐性変異が現れることが知られています。またそれ以外にも、HBVポリメラーゼにおける80位、173位、180位の遺伝子(コドン)変異も薬剤耐性変異として知られています。更にその他の薬剤についても、複数の耐性遺伝子が報告されております。

本検査ではHBV遺伝子を検出し、LAM他、3薬剤に対する耐性遺伝子の解析を実施してご報告致します。

### 検査要項

項目コード	25470
検査項目名	HBV薬剤耐性遺伝子解析
検体量	血清 0.5 mL/凍結 <sup>*1</sup>
検査方法	PCR-Lineprobe法 <sup>*2</sup>
所要日数	4~18日
検査実施料/判断料	未収載
定価	30,000円
備考	<p>*1：必ず専用採血管（容器番号：62）にて採取の上、遺伝子検査の専用検体としてご提出下さい（同一検体で遺伝子検査以外の項目との重複依頼は避けて下さい）。</p> <p>*2：事前にHBV定量での確認検査をお勧めいたします。 定量値が3.5Logコピー/mL以下は、検出できない場合があります。</p>

※本検査の受託開始に伴い、以下の項目は平成23年3月31日(木)をもちまして受託中止とさせていただきます。  
[05137] HBV-ラミブジン耐性遺伝子

### 検出可能な各薬剤耐性遺伝子

薬剤名	HBV薬剤耐性変異位置(コドン番号)			
ラミブジン	80	173	180	204
エンテカビル	184	202	250	
アデホビル	181	236		
テノホビル	194			

### 参考文献

中尾将光, 他 : 消化器科, 48, 450~453, 2008.